



キャンパス内の今の混雑状況とこれからの混雑予測を知らせる「K-know」を開発

九州大学のキャンパスで生活をする学生や教職員は、日々、食堂やバス停、施設の混雑に悩まされています。これから食堂に向かうときやバス停に向かうときに、現在の混雑状況がわかると便利だという声が多く寄せられています（2015年、2016年のアンケートに基づく）。そこで、九州大学基幹教育院の島田敬士准教授と株式会社アドインテは共同で、本学の今の混雑状況を知らせるシステム「K-know（ノウ）：Kyushu University Now」を開発し、サービスを開始しました。

「K-know」では、株式会社アドインテが開発したAIBeaconというセンサを利用しており、AIBeaconに電波接触した無線機器（スマートフォンやノートPCなど）を計数することで、センサ周辺の混雑状況を推定しています。また、過去の混雑データを活用して、今後の混雑予測も行っています。ユーザは、スマートフォンやPCからK-knowが提供するWebページにアクセスすることで、キャンパス内の食堂やバス停、交流広場などの混雑状況を知ることができます。また、ユーザはWebページを通して現場からの混雑レポートを返すこともできます。

今後は、システムが推定している混雑レベルと、ユーザが感じる混雑レベルのギャップを埋めるためのログ分析を通して混雑状況の推定精度を高めたり、学内の関連プロジェクトと連携して、混雑予測性能を高めたりする工夫を行っていきます。また、飲食店や商業施設、レジャー施設などなど、混雑状況をリアルタイムに知りたいというニーズの高い場所でも広く利用していただけるように、利用環境の提供を進めていきます。

研究者からひとこと：

実世界をセンシングするという研究を続けてきました。今回は、株式会社アドインテとの共同研究を通して、ありそうでなかった混雑状況のお知らせシステムを開発しました。

社会には知らせることができれば便利な情報が他にもたくさんあります。学内の共同研究者（イメージ・メディア理解研究室）と連携しながら、研究を進めていきます。



（参考図）

Webページにアクセスすると、各地点の過去30分の混雑状況と60分先までの混雑予測がグラフ表示されます。ユーザは、右側のフィードバックボタンから現場レポートを返すこともできます。

【お問い合わせ】 基幹教育院 准教授 島田 敬士
電話：092-802-5876 FAX:092-802-5876
Mail: atsushi@artsci.kyushu-u.ac.jp